



▲約 50 人の仲買人がブリなどを競り落とした (県漁連小浜支所・1月5日)



▲約 20 人の仲買人が谷田部ねぎなどを競り落とした (市総合卸売市場・1月5日)



▲子どもからお年寄りまで約 300 人のランナーが走り初めを満喫(香取・1月1日)



▲子どもたちが家の戸口や柱などを「ばち」でたたき、一年の幸福を祈った(下根来・1月13日)



▲子どもから年配の女性まで 30 人が着物姿で初釜を楽しんだ(働く婦人の家・1月6日)

1 | 12・13 経済活性化を目指して!



観光誘客による地域の経済活性化と、小浜の特産品を市内外にPRすることを目的に、小浜商工会議所が道の駅で「新春おばまのええもん市」を開催しました。特産品や福袋の販売、もちつき大会、ほたもち・ふぐ鍋のふるまいなどが行われ、大勢の観光客や地元住民などでにぎわいました。

12 | 23 いのち 守ろう生命 笑顔で安心な日々を



「障害者問題を共に考えよう小浜フォーラム」が、サン・サンホーム小浜で開催されました。これは12月9日の障害者の日にちなみ、すべての人がつながり、安心して幸せな社会を築くことを目的に毎年開かれており、今年は東日本大震災に関する講演や沖縄民謡の演奏などがあり、参加者らは楽しいひとときを過ごしました。

1 | 13 成人の誓い 感謝の心で



文化会館で成人式が行われ、新成人 291 人(男性 145 人、女性 146 人)が参加しました。式典では、新成人代表の前野恵美子さん(20歳・加茂)が、「今までに出会った人々が私たちを成長させてくれました。出会いに感謝しながら、生きることを大切にしたいです」と、壇上で教育委員長に誓いの言葉を述べました。

1 | 10 南極の氷を体験!



2009、2010年に日本南極地域観測隊員として建築工事に携わった坂下大輔さん(北陸ミサワホーム)を講師に迎え、南極教室が小浜小学校で開かれました。講演では写真や映像を使って現地の自然や隊員の生活ぶりなどが紹介され、南極の氷に触れる体験とともに、児童 47 人は環境保全に対する理解を深めていました。

12月25日 原子力安全協定を見直し締結

福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会の市町(小浜市、若狭町、南越前町、越前町)と、関西電力など3電力事業者が、原子力安全協定の改定に係る締結式を、若狭町役場で行いました。

昨年8月の協議会の見直し要請を受けて、事業者が9月に計画の事前報告や自治体職員の現地確認など新たな項目を入れた見直し案を提出。さらに、12月7日には異常時の連絡通報に関する文言を立地と同じとする内容を盛り込んだ修正案を示し、その後、協議会が了承しました。松崎市長は協定の改定内容について、「これからも協議を継続し、できる限り(協定内容を)立地に近づくようにしたい」と述べました。



右から森下若狭町長、松崎小浜市長、川野南越前町長、関越前町長(若狭町役場三方庁舎)